

2部

フィールド フィールド
現場から現場へ

学びの道のり

～学ぶことの大変さと楽しさ・うれしさ～

通信教育部福祉心理学科卒業生 **吉田 展泰**

はじめに

皆さま、はじめまして。福祉心理学科卒業生の吉田展泰と申します。私は、平成28年4月、3年次編入で福祉心理学科に入学し、平成31年3月に卒業しました。私にとってこの3年間は大変な道のりでしたが、かけがえない、有意義な期間であり、通信教育部で学べたことにとても感謝しています。みなさまには、3年間の学びや体験について紹介したいと思います。

学びのきっかけ、福祉心理学科での学びについて

私は、10数年間、障害者の相談支援や就労支援に携わってきました。支援の中で、障害者やその家族の「こころ」の働きや作用について関心を持つようになりました。独学で心理学の書籍を読み学んでいたこともありましたが、心理学を体系的に学びたいという気持ちが強くなり、入学を決意したのが福祉心理学科での学びのきっかけです。

入学後は、教科書や参考文献などを読み、レポート作成に励みました。私の場合、できるだけ先生の生の声を聴き授業も受けたいという思いがあり、スクーリングの受講にも励んできました。しかし、仕事と並行しながらの学習は、思っていた以上に大変な道のりでした。入学当初は、張り切って、空き時間や土日の休日など学習に励んできました。しかし、半年を過ぎると、仕事に忙殺され、それに伴いレポート作成も滞り、スクーリング受講するだけで手一杯な状況が続くようになりました。学習の進め方

で悩んだ時もありましたが、1年を過ぎた頃から、「学習は休日と年末年始」と割り切って学習できるようになってきました。学習時間が限られるので、休日や年末年始は、受験生の追い込み時期のような学習スタイルになりましたが、私にとっては、集中ができ、効率的にレポート作成を進めることができました。

福祉心理学科での学びは、各分野さまざまな心理学について学び深められたと同時に、知識の整理、今までの支援の気づきや今後の支援のあり方など、さまざまな気づきや学びを得られたと思っています。仕事が忙しい上に、さらに時間と労力を使い学ぶことは、苦しい道のりでした。しかし、苦しい道のりの中で、想像もしていなかった気づきや発見も多くありました。その気づきや発見は、楽しみであり、うれしさでもありました。また、レポート作成やスクーリング受講は、自分にとって、仕事と少し距離をとる時間であり、苦しさの反面、気分転換や自分を見つめなおす時間だったと思っています。楽しみ、うれしさなどの体験を積み重ねるうちに、より学びたいという意欲につながりました。その意欲は、卒業研究に取り組む後押しになりました。卒業後、このような楽しさ、うれしさから離れてしまい、少しさびしさを感じる今日この頃です。

卒業研究、公認心理師試験について

私は、入学当初から大学で学んだことを活かし研究をしたいという気持ちがあり、約1年間、卒業研究に取り組みました。日頃、支援の中で疑問に感じていたことをもとに「精神障害者が就労を決意してから就労定着するまでの心理的プロセス」という研究テーマを決めました。論文を完成するまでの道のりもまた大変なものでした。私の研究は、グラウンデッド・セオリー・アプローチという分析方法をとりました。インタビュー調査の逐語録をもとに、地道にデータ分析をする方法で、多くの手間と時間が必

要でした。8月から本格的に調査・分析が始まりましたが、この頃から論文提出期限の1月末まで、休日・年末年始はもちろん、ほぼ毎日、論文のことを考え、とにかく時間があれば分析作業、論文作成をしていました。担当教員であった中村恵子先生から、計5回の面接指導を受け、最後の面接指導では、東口キャンパスで長時間つきっきりでご指導いただきました。どうにか1月末の提出期限までに論文を提出でき、その後、良い評価をいただくことができました。卒業後は、中村先生の勧めで、学会にて卒業研究を発表する機会をいただくことができました。学会発表自体初めての経験で大変緊張しましたが、参加者からの質問や指摘などを通し、さらに卒業研究に関する気づきや学びが深まったように感じています。

卒業研究を始めた時とほぼ同時期、公認心理師の現任者講習会の受講と試験勉強を並行して行っていました。当初は「卒業後、余裕が出たら勉強し試験を受けても…」と思っていましたが、後に「学んだことをまた違うかたちで活かせるのではないか」と思いが強くなり、思い切って受験することにしました。試験は難しかったですが、福祉心理学科での学びを活かし問題を解くことができ、とてもありがたく思っています。結果、どうにか合格することができ、卒業研究の評価とともに、うれしい出来事になりました。

さいごに

中村先生や各先生方、通信教育部スタッフのみなさまのご指導やご協力により、かけがえのない充実した3年間を過ごせたことに感謝申し上げます。みなさんのこれからの学習や困りごとなど、先生方やスタッフの方々が一層支えてくださいます。どうぞ、学ぶ楽しさやうれしさを感じる機会を多く持てることを願っております。最後まで読んでいただきありがとうございます。